



知っておきたい！子どもの事故防止！

1歳から9歳までの死因の第一位は不慮の事故といわれています。特に4歳までの不慮の事故による死亡は、交通事故よりも本来安全なはずの家庭内で多くおきています。

なぜ事故が起こりやすいか？

- 頭が大きいので、重心が高く、バランスを失って転びやすい。
- 大人より視野が狭いので、横から来るものに対し注意がいかない。
- 手に触れたものは、何でも口にする。
- 好奇心が強く行動が活発。



どんな事故が多い

- 誤飲：子どもの誤飲で一番多いのがタバコです。タバコや灰皿は手の届かぬところに置かない。ジュースなどの空き缶を灰皿がわりに使うのはやめましょう。
*危険なものは、子どもの目の届かない場所にきちんと管理しましょう。
- 溺れ：小さな子どもはわずか10~20cmぐらいの水でも溺れてしまいます。特に風呂は大変危険です。入浴後は浴槽の水を抜くように心がけましょう。
- 転倒：階段やベランダ柵の隙間からすり抜ける事故も珍しくありません。柵をつけ、ベランダや階段近くには踏み台になるようなものを置かないようにしましょう。

※子どもから目を離さず、事故の起こらないような環境を整えていきましょう！！

笠間のがんばる企業紹介⑱

市内で活躍する企業を支援するために結成された「笠間市がんばる企業応援連絡会」。このコーナーでは、連絡会に加入している企業の皆さんを紹介します。

大化工業(株) 関東工場

大阪府枚方市に本社を置く大化工業(株)は、プラスチックフィルムメーカーで、梱包用ストレッチフィルムの生産で日本一の規模を誇る企業です。稲田地区の関東工場で、石橋忠夫常務取締役工場長にお話を伺いました。

「ストレッチフィルムとは、どのようなものでしょうか？」

「企業の物流などで使われる梱包用フィルムのことです。家庭で使われている食品用ラップを大きくしたようなもので、段ボールケース等を集積した荷物をぐるぐる巻きにして簡単に梱包できます。当社が開発したコアレスラップは、これまで処理に困っていた芯の紙管を厚紙に替え、簡単にリサイクルできるようにした環境にやさしい製品です。」

「こちらの工場について詳しくお聞かせください。」

「平成5年に建設された当工場は、需要の増大とニーズの多様化に対応するため、工場の規模を拡大すると共に最新の無人化生産ラインを導入しています。また、ストレッチフィルムのほか、食パンや菓子パン、麺類等の食品包装、文具、クリーニンング包装などに使われる付加価値の高

いフィルムの生産拠点として、顧客満足度を重視した品質の高い製品、環境問題にも配慮した安全な製品を提供することを推進し、今日に至っています。」

「なるほど。」

「包装用フィルムに求められる機能は、お客様が何を包装するかで全く異なります。当工場には開発チームもあり、ニーズに合わせた製品作りに入力を入れています。海外との競争も激しくなっていますが、品質と技術力を武器に、これからも活躍の場を広げていきたいと考えています。」



(左) 工場外観 (右) ストレッチフィルム

「大化工業(株) 関東工場」

従業員数▼90人

※文責▽笠間市役所企業誘致推進室(内線228)